

考 姓名
す 彦彦
蜺縮源教集
下



W 52-2
0 86
2



假名文字ナモジ使規縮涼鼓集下

第九二ら

らんぢや 蘭麝二種

らゐぢえ 雷神たか

らうぢえ 老人 樂多月

らんぢえ 欄楯

らうせうぢえ 老少不定多

らんぢやう 乱声 音樂多

らんぢやたい 蘭奢待名奢待傳有東大寺之文

らうぢやう 郎從一徒

らうぢやう 老中家多

らくぢやう 落城一字月

らくぢやう 落著

らかんぢや 羅漢樹仙栢也

イヌミキ 松多

第九三二

むもやぢら 驛路 乃中へ

むめい 梅津 系ぬ

むぎえい 盡意 仏名

むぎもん 矛盾 おそむく
ホコタテ 鉾楯 月

むめづけ 梅漬

むゆんきょう 無人声

むぎょう 無常 迅速

むぎょう 無常 今むぎょう

むぐろく 鼻春 鼻

むろづき

むしとじ

むどか

むめず

むそぢり

むぢり

むぎょう

むしづ

むづむ

館 日本紀 客舎
和名ニムチツミ

連 高戸姓
木下少一公

貉一狸

梅醋一漿 日

六十

無任寺

無上 極上

虫津 清唾

埋瘞 うづむ

びくろいづ 木薬子^シ云々

第廿四

うづき 卯月

うづき 閏月^{一云}

うぢり 宇治^{山城古作免道}

うづまき 大秦^{山城}

うぢらぬ 雲林院氏

うぢらへ^エ 氏家氏

うたづき 雅樂寮

うず 洞水

うぢらぬ 雲列橋

うぢらぬ 雲珠梯^{鞍馬山}

うづ 鶺鴒^{一云餅}

うぢらぬ 宇治丸

うぢら 蛆^{腐物生る虫}

うらら 鱗^{いろ}

うらち 姓ウラチ氏ウラチ

うらちこ 氏子

うらちド 項ウラチド

うらちづる 表ウラチ包ウラチ上ウラチ月

うらちえ 卯杖

うらちウラチくウラチまるウラチ躰ウラチ 一云ウラチ丸

うらちらん 初陣

うらちウラチめウラチ後ウラチ誥ウラチ

うらちウラチうウラチ 有情ウラチ非ウラチ

うらちウラチんウラチ 運ウラチ賃ウラチ

うらちが 氏ウラチ神ウラチ 姓ウラチ氏ウラチ先祖ウラチ神ウラチ之ウラチ

うらちく 寵ウラチ 哥ウラチ人ウラチ

うらちウラチずウラチとウラチ 落ウラチ墨ウラチ一ウラチレウラチ紙ウラチ日

うらちウラチとウラチずウラチ 末ウラチ苦ウラチ日ウラチ躰ウラチ了

うらちち 卯ウラチ槌ウラチ

うらちウラチぬウラチ 踏ウラチ居ウラチ 一云ウラチ

うらちウラチたウラチなウラチまウラチ雲ウラチ裝ウラチ玉ウラチ水ウラチ口ウラチ祭

うらちウラチ志ウラチ子ウラチ 討ウラチ死ウラチ

うらちウラチたウラチくウラチ 堆ウラチ

うらちウラチちウラチうウラチ 運ウラチ上ウラチ 貢ウラチ

うすづく 春

えんどて 恨 えんどて

うらづぐく 打續

うづむ 埋 うづむ

うづ 烏頭 トリカスト

うへふ 餓死 うへふ

うづく 痛 うづく

うみづく 領狀 うみづく

うずまぐ 渦巻 うずまぐ

第廿五の

附前い之部

第廿六の

のぢろ 野路 のぢろ

のづら 埜際 のづら

のぎづけ 葦舟 のぎづけ

のづち 野槌 のづち

雑草

下三

のどめ 野ト

のどる 旬スミテモ旬日

のうせう 陵茗日 俗云ウセシ

第七七七

附前を乏部

第七七八

くろぬちり 雲居路

くぐちり 陸路一

くけちり 崎岨匿路日

くもんちりよ 公文所

くまハツ 樟葉河内必藪 或楠葉共

くまぢりのちり 糸糸和

くまづち 愚塚 具列

くまぢりちり 勸修寺和云

くまぢり 宮城

くぢりちり ち中

くうぢり 空地 アキ地

くづ屋 屑屋 ロイヤ

くづづまき 内藏祭

くづめぢり 苦集滅道 山

くど

葛 シシカ 餅日

くどろく 葛蔓

くど

國柄 キタノ 年中行事

くめのぢり 國枝榎尊 天

くろくぢん 荒神 ニ室

くらろく 花人 今味名

ぐんド 郡司 一寄

ぐんドや 冠者 クニノヤ

ぐんぢき 貫首

ぐらぢき 月 初事

くまろくぢん 俱生神 仏法

くまろく 孔雀

くぢらら 鯨鯢 一ニ云クツハ

くドウ 鹿草 在海中ニ 鹿園月別名

くろくぢき 欸狀

くろくぢき 纏 和名ニ又都和

くづ 屑まきくろくろく日

くろんぢく 卷軸書尾

くろんぢき 舊事紀書名

くろんぢき 園一云くろんぢき未考

くろんぢき 公事一敗一沙汰

くろんぢき 過上

くろんぢき 勸進一帳一聖

くろんぢき 火定入定

くろんぢき 梳櫛谷敷一風

くろんぢき 口手一身心一ホミ

くろんぢき 草摺

くろんぢき 鱗絲ラトク

くろんぢき 卷数一初稿

くろんぢき 群聚一集

くろんぢき 口授一俵

くろんぢき 灌頂一汲水

くろんぢき 軍陣

くろんぢき 火車

くろんぢき 口號一口号

くろんぢき 扶上一眼

くぐく

折東一西一
志ス一午足一

くろくろ

窮屈海河
類河

くづる

類一墮崩

くでう

九條涼
類涼

第九九

やららり 山路舟一

やまららり 太和路も

やまららり 日本のおも

やまららり 冥途冥路

やづらり 屋造

やまららり 山曼又山

やまづらり 山祇山祇
大大日

やくららり 厄神天魔

やまららり 夜叉神

やまららり 八十氏五十

養子

揚枝

やぢら

鏃 矢尻之義
矢根之

やんず

矢筈一筒

やづら

矢束 矢長

やうと

揚枝 磨齒者

やうとら

横筈 筈或云揚條
未知是非

やまごのそらづ

山田傳於云添水
也傍於ニ云クスト

やどら

やんぢ

やうとら

やすんぢ 安 ヤンヂ

やうじ 養子 スミテモ

第三十ま

まごぢら 真砂路

まごぢら 真砂路

まんぢう 号年 万壽 しんま 穰利

まろじ 末寺 いさし

まろじ 町尻 大内 アリ

まんぢう 満仲 多田新登素

まろじや 亡者 死令

まんぢう 満珠 干一由一
余之玉

まんぢう 摩尼寶珠

まんぢう 饅頭 キハ 墓之

まろじ 耻 外一之目尻

まろじ 交接 雑 まろじ

まんぢう 万壽 しんま 穰利

まろじ 末寺 いさし

まろじ 孟子 古大賢之後
スミテモ 書符

まろじ 鷄鷄 一 鷄

まろじ 孫嫡子 ヨシ

まろじ 代無眉墨ノ長

まんぢ 萬字 正 古萬字

まんぢ 万壽 楽 楽名

まろじ 同上 目尻

まろじ 交接 目 まろじ

第廿二

まづ 先早く日

まづ 駒駒目上

まづ 祝呪厭

まづ くいき 万ギキ 不可イコ

下の六

まづ 間道一を

まづ 貧まづ

まづ 請おし 参ま

まづ 毎時又毎

第廿一

けん 意日

けん 雞人報時

けん 源氏姓又光 清和守安

けん 友實茶名

けん 賢人

けん 助士菩薩 入声音

けぢりよ 化女 玉藻前亦

けぢりく 蚰蜒 ニミギトク

けしすゑ 消炭

けんずゐ 間炊 或祝

けんぎやう 劍術 兵法

けららき 價直 物と愛ふ

けんぎやう 勸賞 げきやう丸

けいど 怪事 物怪

けんぎやうらく 還城樂 系名

けいしやう 興 けいし乗念くノ後必

けぢりよ 下女 ハミタ

けららめ 距離 雞ノ史芥

けんずゐのぎ 源氏物語

けんぎやう 啓上 献

けらら 下知 ケチ

けららき 下直 物あひの馬

けんぎやう 決定

けんぢりやう 嚴重 法度

けんぎやう 献 ケんト

けんぎやう 減 げんト

きりぎりす

けりりめ 王篇 験 古点 結目 伊勢

けりりい 氣近

けんぢりう 謙仗

けづる 削 木一 地 二音

けりまづく 蹴躓 ツツク 甲斐

けんぢりう 賢聖 障子

第卅二ふ

きとづき 文月 青月 七月

ふと 不時

ふぢりくわ 夜川 義法

ふぢり 藤 葛の白は紫ト多ク 花は凡ト多ク 水月

ふぢりくわ 友原 姓天織冠初 賜姓

ふぢりう 不日

ふと 冨士 不二 冨士 不盡 冨士

ふぢりくわ 丹路 海路

ふぢりくわ 蘭 蕙 者 袴

ふぢりくわ 福祿壽

ぶらぎん 佛神

ぶらぎん 後人 後人之

ぶらぎん 夫人 女爵 漢李衛

ぶらぎん 風市 灸穴名 一三三

ぶらぎん 文案 几書案 羊光

ぶらぎん 文集 菅家

ぶらぎん 不自由

ぶらぎん 不定

ぶらぎん 佛事

ぶらぎん 無事

ぶらぎん 福沖

ぶらぎん 婦人

ぶらぎん 分身 仏法

ぶらぎん 五倍水 黒齒

ぶらぎん 文粹 肩夕

ぶらぎん 不仁 義 手足

ぶらぎん 不淨

ぶらぎん 不受不施

ぶらぎん 福壽 海

ぶらぎん 普通

第廿三

ふぢぢ

諷誦一丈

ふんぢぢ

紛失

下のハ

ふづりけ 罌沙

ふづりむ 伏沈臥

ふぢぢは 蹂躪

ふづりむ 愠怒心中を

ふぢぢも 縷衣喪服

ふぢぢあ 蒲公英

第廿三

ふぢぢ 越路塞

ふぢぢ 小路 大路

ふぢぢ 五條 糸直至九

ふぢぢ 兒嶋 依あゆ鶴

ふぢぢ 洪水 東白河

ふぢぢ 極樂浄土

ふぢぢ 梢標 木末

ふぢぢ 金翅鳥 公肩

ことうじ 特牛 俗名そらこ

ころうじ

犛牛子こ

こらど 居士 虎さく 東坡自暴

こらうと

子舅 舅之子

くらぶき 乞食 乞兒こしき 俗名こぶき

くらぶき

金神 曆家

こぢえ 古人 昔人

こぢえ

故人 旧知之故友 平車外心

こしど 巾子 冠入髪

こしどら

柱琴 日御

こびやう 鐙刀

こびやう

金精 繪具

こんがりのぞ 金剛子数珠

こいど

欠匙 香匙

こんぢら 紺地 織物

こいどら

古事紀 昏名

こくぢやう 極上 極上

こくぢやう

御状

こしど 故事 例事

こんぢき

金色

之七十一

こごつ 故實 スミテモユ

こんごう 今生 仏徒ノ後生

こうごう 口上

こんごう 根性 生れつき 極く極く

こんごう 懇情 こせ光 子語

こんごう 言上 一ウシヤク

こんごう 権實 カリコト

こんごう 骨髓 後任 寺院住持 前任

こんごう 口入 クミラセ

こんごう 後任 寺院住持 前任

こんごう 定イ

こんごう 後陣 先

こんごう 五濁

こんごう 五常 仁義礼智信 五管目 五恒九

こんごう 五塵

こんごう 此中 比比

こんごう 固辞 再ニ一 カタイセム

こんごう 困 苦み 名

こんごう 本傳

こんごう 蓮

下の九

こひぢり 死

こむづく 声繕 欵 四

ことづて 事倍言倍 化 言 訛

ころすま 不懲 ま 休 字 入

くちゅうぢり 黒繩地獄 えんぢり 胡飲酒 樂名

第廿四え并忍

えのぢり 永日 一 年

えんぢり 遠所 と

えんじ 蝦夷 エ 夷 エ ソ ク

えんぢり 繪島 磯

えんじ 遠寺 し 晩 鐘

えんぢり 槐 和名 エ ニス 多 ん 出 九

えんぢり 蒲萄蔓 紫 葛 日

えんぢり 役行者 公 役

巻五

下の十

えいど

衛士一ノ焼火

えんじや

縁者從縁

えづ

繪圖畫圖

えんぢよ

艶書一ノ書

えんぢや

圓寂

えいぢや

詠奇

えいぢや

栄術栄兵衛

えんじや

臘脂燕支

えんぢや

衣食キモノクヒモノ

えづ

嘔噦有言

えんぢや

怨恨

えいぢや

映有言

てんぎょう 天上一天下一又一天上一又一天下一

てんぢら 田地

てんぢらてんぎょう 天一天一上一曆一家一
十九日 天一神一名一

てんぎょう 殿上一向一

てんぎょう 天神一天一海一一一門一

てんぢらてんぎょう 天智天皇一天智天皇一

てんぢらてんぎょう 鉄杖

てんぢらてんぎょう 調度一天一一一日一

てんぢらてんぎょう 疊六一天一六一目一
或種一六一

てんぢらてんぎょう 牒狀一返一

てんぢらてんぎょう 天竺一五一一一門一或一自一覺一

てんぢらてんぎょう 田舎

てんぢらてんぎょう 天井

てんぢらてんぎょう 手一換一乳一高一翁一各一
足一一美一

てんぢらてんぎょう 手束一日一

てんぢらてんぎょう 自信一公一

てんぢらてんぎょう 轉手一琵琶一軫一

てんぢらてんぎょう 兆土一子一双一六一

てんぢらてんぎょう 魚一二一天一六一目一
或種一二一

てんぢらてんぎょう 點心一私一家一正一食一外一之一也一

てうづ 手水 手洗ふ 桶 一 宵

てふどら てふどら 牒合

てう 條 箇一 件一 系一 於一 一 一 又 袋一 袋一 又一 一 七一 月

てづら 手 手 自 自

てうらふのぢん鳥雲障 軍法

てん書 借 又 授 授

てん書 手談 拵

第六六

あさづくひ 朝附月 一 月 日 夜 日

あさ 穴師 吹乾風 俗 云 あさ

あさづ 粟津 江列

あづま 五妻 女 嬬 東 大 國 ラ 云

あひら 淡路 回名 又 一 日

あさづま 五妻 女

あきづき 秋月又氏

あひづ 會津奥列あひづ

あづまや 四阿東屋源氏卷名又催馬

あまづう 塙蟻あまづう

あづち 和名ニ 塚射塚棚揚馬六

あんまろ 菴室 庵あんまろ

あづさ 梓鏤ツギ 角楸ツギ

あぢまゐ 和名ニツサ 紫陽花あぢまゐ

あづき 小豆赤豆豆 荅豆

あぢまめ 菘豆

あぢまき 檳榔

あきつじ 山榴アキツジ

あどつら 藟葛青藜日

あどろろ 防已ツグラス

あんず 杏子唐音トモ

あさぢり 浅茅アサヂリ

あづる孟 開白 職

あまろろ 東堅子女友

あんま 庵主院

あんぶや 行者 寺役

あぶら

阿闍黎

梨日
アザリ

あぶ

主

あぶり

黄牛

あぶら

鯨

あぶら

鵜 あぶらの
白鳥一本
アブ

あぶら

鯨

あぶら

足指乳 手より婦
古地名

あぶら あぶら
清盲自翳

俗アホリ

あぶか

篲 竹器
越人

あぶら

網代

木ノ
網代
和名
遠除

あぶら

阿伽士器 スミテモヨム

あぶら

梓弓

あぶら

東琴

六絃云

あぶら

藍摺

あぶら

麻地酒

名酒

あぶら

赤地

織物

あぶら

安祿散

あぶら

阿字

仏法
不生一十方
公

あぶら

垢一付

あぶら

孟

郷食一應

わぢら

味 あぢら

あひづ

相圖

あんまえ

安心

あいちやく

愛著 あひ上春撰

あんぢらう

案中 如案

あくド

悪事

あづーま

あやまーまき煩

あづろ

豫預 あづろ

あけづらふ

論

あしずり

蹉跎 あしずり

あまづる

侮慢 あまづる

あぢらまき

無狀一 あぢら

あしず

非不 あしず

あしず

不在 あしず

あまづ

千歳黄糸汁

アイトク 煎汁曰甘葛煎曰和名酥蜜部在著閑言にわまづるをうけて二糸いをわらう

第七七

さくぢう

朔月

月朔

ざんト

暫時

あひら

さんづ

三途

仏法 大河

さいでう

西條

氏日 柳日

さんでう

三條

四一五

さんづま

若草

万

さんぢえん

山神

山ツミ

さんぢえん

散人

卑称

さだのぢえん 左大臣右

さうづき 盃 盃 椀 爵 毒

さくぢう

昨日

さんぢえん

山上

大峯 山

さんぢえん

棧敷

きんぎょ

さめりじ

左女牛

系

さんじぢえん

珊瑚樹

海中赤木

さんぢえん

五味子

又 葛

さんぢえん

山人

ヤミウツ 山人

さんぢえん

才人

才子

さいぢよ

妻女

ツミ

さびぢう

提重

重ハシ 提重

ちど 茶匙

ちいづち 榿ツチ目 榿サイツチ 榿和名

ちいづつ 指圖繕場 又指圖

ちんぎょう 算術

ちんぎょうの三永水字偏傍作シニ似三字形故云 散水筆

ちいぎょう 最上無上之俗作家

ちんぎょう 参上イル

ちぶつ 雑事入声サフ

ちうぎょう 草書草

ちづくる 授

ちいづえ 鑄田器

ちいづえの支狀

ちんぎょうの三種日本堂 器傳國

ちんぎょう 三頭馬

ちくど 作事 造作

ちんぎょう 産生ウマ

ちんぎょう 参仕

ちうぢり 掃除

ちいづる 嘔

ちんぎょうの散又 孫イル

さんぢうかん 三重韻 虎関作
白略

第卅八き

さんぢう 近日

さんぢうよ 近日

まぎ 本津 山城川

まよぢう 津の

まのぢう 紀伊 紀伊

まよぢう 君臣

まぢうぢう 京中 洛中

まよんぢうりよ 祇園精舎 天

まつぢう 本辻 地名

まよぢう 雉股

まぢん 鬼神

まよんぢう 今上 尚今
皇帝

まぢらぢう 吉祥天女

まぢうよ 行者

まぢうらよ 宮女 宮女

まぢらぢん 狂人

左の十

下の十

まきうじ

經師 本一院一日

まきんぶ

近習 入声 禱丸

まきふじ

給事 給入声音 中

まきまうとんじ 儀同三司

まきふト

給仕 配膳

まきぢよ 鬼女

まきりト

橘次 人名今、吉字用

まきト 雉野雞

まきのつひ

木芽漬 木見

まきじとト 香匙火匙

まきづき

夜被

まきぢ 木地

まきとら

纈纈

まきつあ 練絆 日 鞆 日 繼 日 纏 日 手 日 犬

まきぢう

枳實 菜名

まきぢうづらん 枳木丸 菜名

まきぢよ

灸所一穴

まきぢうずの 行水 浴

まきふト

急事 急、金、声、キ、フ、ノ、音、キ、ウ、ノ、後、各、得、ク

まきぢうぢう 輕重

ふんぎやう

謹上

文章一
再拜日

いさらト 吉事

いさむ

奇瑞一特

いさらト

凶事

アキキ
けうの候名不忌

いさらト 行住一坐卧

いさらト

灸治

針一
ヤイトウ

いさらト 吉祥

キウヤウカ

いさんト

禁止

イニシトムル

いさむ

氣随

我言ニ依る人
隨をこく

いさむ

氣を

んをこく

いさむやう 許狀

先師人奉

いさむ

際付

汚班人
ミナツキカ

いさむ

疵

人身瑕瑾玉
割日

ゆづ

長庚

太白星一名
一云ゆづき

ゆづくひ

夕附日

暮らり日
夕月日

ゆづくよ

夕月夜夕附夜日

ゆづき

霜月

十月あめ

ゆづ

本綿苜

ゆづる

榎杵弓弦

常あま
親あま

ゆづ

耳 弓ノ糸
本一末一

ゆづ

附 弓糸

二キリ
ゆづ

ゆづえ

弓杖 ゆづえ

ゆづのつまぐー湯津瓜櫛妻

ゆづる

ゆづりけりー湯漬飯

茶一

ゆづる

ゆづら

遊女

ゆづら

ゆづりけりー湯付

ゆづ

軸通 一 念仏日

ゆづり

行櫓

袖スレアス

ゆづる

譲 一 謙 禪 一 位

ゆづく

湯持 末徳ナト

ゆうぎよ

婿ムス怒ス優ス

第四十め

めぢら

目路目路

めいぢえ

名人

めらじ

牝牛牝

めんぢき

免狀免

めいぢら

伸伸銘銘

めづり

珍珍奇奇

めらじき

荒蔚荒蔚益母益母

めいぢき

名儒

めらじら

鯢鯢鯨鯨

めんぢよ

免除免除

めまぢら

朧朧瞬瞬

めづり

珍珍寵寵愛愛

めづぢらよ 滅除一尽三

めん老 面授口決

めづらふ 百使

第四十一み

めづらふ 明星アカホシ 歳星別名

めづのえ 壬 干名

めづつき 水 育月 六月名

めづさき 瑞籬

めづらふ 明州 中華地名 日ノヨリ舟名

めづのえ 水 江 丹後 莖ノ尾月

めづつき 二月 月初初末三月 初月若月

めづのと 癸 干名

めづのふ 水 德國 瑞一別名

めづらふ 湖 水色

めづ 水 玉一色或白一山一青 凡多字ハカ 洞推テ知ハ

めづらふ 茨水 露

めづらふ

ミヤづこ
ミ奴

ミウミ
明神

ミヅチ
蛟カ 虬リウ
水神 智

ミズ
蚯蚓クワダ

ミヅコ
水子

ミヅウ
汞水銀クワダ

ミヅ
湯厨子文春棚

ミヅウ
漂信漂木

ミヅヒ
水引紙ヒヨリ

ミヅ
津ヒヨリ

ミヤト
ミ寺ミ

ミヅ
水鬼カ 鵬リウ

ミヅ
罔象カ 魍魎リウ

ミヤ
宦仕カ 宦出身カ

ミヤ
名字名字 又各氏ハ

ミヅ
水莖カ

ミヅ
承カ 鞆カ 七カ

ミヅ
漣カ 標カ 漂カ

ミヅ
津カ

ミヅ
津カ

こむ。昆布山椒クニノシロ九萬字之秋云
不見辛苦不見辛苦築根字築根字必遠必遠

こづろ 自呼ツカラ

こまうまよ冥助 鼻鼻 鼻鼻

ころど 密事ミソカゴト

こどか 短

こむと 不見不着月必少後名同か

こづき 蹠みろり

こづろ 鬢ハシ 鬢ハシ 了ハシ 鬢ハシ

こずろ 伊修法イシュホウ

こぢん 微塵

こそら 三十三十 一字一字

こらづき 道列道列 一一 行人行人

こむと 伊彌イミ

こづき 唧筒シツトウ

第四十二し

こづげら 月月

こむと 春秋春秋 中中 百歳百歳

ときく 時刻一分一代 候日

ときあやう 入定おんていつた 亥時

ときうともう 上方下中下

ときらいつい 月域月を別名ス

ときうとど 浄土極楽 糸日

ときうらうく 城郭楼日 内中下日

ときしや 寺社領一役中 家一法日

ときんちや 神社甲一領 室一役日

ときとら 法多妙義并好井 石一昔一一日

ときふち 塩路

ときんでう 晨朝

ときうたの 上代一世

ときうじや 精舎祇園一武夷

ときもてん 仁壽殿大内

ときうぱう 十方上下八方 界一昔日

ときめちうらう 標茅原下北又仏舎 三ノ六道

ときとんだう 食堂

ときもちうく 朱雀院

ときづく 糸滴

ときづりやま 志屋機山後別又

まふせんど 十禪 ノニヤ 列

まゆり ウキキ 樹木

まのどくま 篠落

まぐし ウミ 熟柿 柿正柿誤

まぢら ウミ 上治 藺菌 ムサビ

まぢら 枝保持 木名

まゑま マツカニクシカニ 神祇 天地 教 教

まゑんど 職事 職 俗字

まゑんど 聖衆 木道

まゑんど 進士 太郎月

まづら ノニヤ 静原 山城又

まぐろ 柘榴 安

まづえ 沉枝 下枝

まづんと 籜 竹 米 子

まぐら ウミ 熟地 菜

まよよ 薯蕷 山芋

まゑま ウミ 神祇官 伯大副少副

まゑんど 庄司 郡 庄 本字 庄 俗字

まゑんど 慈氏 仁

まゑんど 信士 位牌 女

きんぶ 俊士一秀

きんぶ 仕丁ツルヨ杏

きんぶ 淨宗法然派 宗門

きんぶ 淨藏キソ 貴所

きんぶ 静沙静沙 妻

きんぶ 儒一者 道一学 一林 一十 佛門

きんぶ 甚人名付く 西国往馬利西

きんぶ 十郎十人舎主の仮名 志す春張

きんぶ 侍者一見

きんぶ 従者婚門

きんぶ 若年若本弱字 一革回

きんぶ 衆生一海友切

きんぶ 時宗一遍上人

きんぶ 拾徳名山

きんぶ 十郎或平御代 一姫音

きんぶ 次郎二郎 次郎 古書に云 一少長

きんぶ 次人名付く又が准守 凡源次平一若橋一存年日

きんぶ 神馬一宝

きんぶ 侍従一郎 一中

きんぶ 従録一類

まもぶら

主從

右ト後者ニ
俗云まぶらぐ

まもたえ

主人

一君ニ又主也

まもごう

准后

三后ニまもごうニ
俗云子又後信純ニ

まもんさんごう 准三后

まもト

執事

祿家ニ
或作主事

まもらん

慈鎮

一田一覺一志
一眼

まもらふ

上臈

一座ニ一氣
一下根一

まもご

上戸

一飲酒者一

まもら

術者幻

まもら

淨人

律宗

まもらん 唱門師

まもらん 丞亮掾尉

官職原皆曰セ
判按ニヨリ後説

まも

蛇

地月へびくへニ
今云クキナハ

一籠
一腹

まもぶら

四十柄

小名
早雀

まもぐ

狸々

能言獸

まもん

蜺貝

まも

麝香

又一猫ハ
聖油

まも

壽

一令一
大龜一板一

まも

瀉藏

一精一水
一虚補

まもら

積聚

病名

志ろくぐひ 狸々皮 檀也

志くらちう 錫杖

志ころう 食筭

志よちう 書状

志づのどまき 賤小手卷 へん

志うご 上戸 へん器漏斗
後受如上戸人今

志う 状 書簡
箱

志りト 障子 衲

志かうづ 襪 下履
はくハクノウヤ

志うえ 淨衣

志うとら 淨玻璃

志ちちう 拄杖

志むと 數珠 むと

志やちく 車軸

志づらとび 賤棧竿 棧鐵
時
勝まく

志ちら 榻 車
床
カク

志字 字 文
後
梵
古文
八分

志ら 緘

志ちう 鎖 子
一云
鎖
未考

志よちく 書籍

ちりしぎ 尚書 書經の尚書

ちりき 十徳 服名

ちりご 十炷香

ちりく 酒肉 肉字或作冥俗又作完誤之完音ク

ちりぢ 白地 素川未彩

ちりぢ 真珠 蚌ノ冬

ちりぢ 十二律

ちりや 磁石 吸鉄

ちりふ 准麩

ちりぢ 盡頭 矢ノ 尽銅

ちりぢ 春秋 魯史

ちりぢ 信夫 鉦摺 續

ちりぢ 自在 鐘子 ラツト者 言高低一ナラツ

ちりぢ 双四 双六 朱四

ちりぢ 下地 未筋

ちりぢ 修羅 古 紙名 相州出之

ちりぢ 食 物衣

ちりぢ 薯蕷 羹 麩

ちりぢ 借狀

ちりぢ 什物 器

志よきやく 叙爵

志きこぞう 式條 式見

志 類 一己一分一由一在 今一他一争一作一畫一賛一身
一カ一慢一餘一害一滅一然一記一問一答

志ご 盡期 志んご九

志せの 辞世 一頌偈壽

志ご 時宜

志どろ 始終 一中一
初中日

志んぐ 信心 一受

志んぢり 針治 鍼 日

志んぢろ 心中 一

志ろく 正從 位階
上下

志ろく 淨瑠璃 一世界
一教養

志ご 辞退 一退

志ひ 慈悲 一愛一服
一母一父

志どんさろ 四深相懇 相敬

志んぞろ 眞實 一誠

志んぞろ 進上 一上

志んぞろ 尋常 俗事

志んぞろ 進 進

おんこう 人口光

おんぢえん 邪変一不思強

おんくぐ 生々一一世々

おんくぐ 精誠一殿月

おんくぐ 清淨内一外一

おんぢえん 正真一非後一食月

おんこう 情一人一思一素

おんこう 讓位天子侍後

おんぢえん 常隨給仕

おんぢえん 常住一不滅

おんこう 神事一拜

おんぢえん 神妙不測場

おんぢえん 正直

おんぢえん 眞實法義法

おんぢえん 生死一考必滅

おんぢえん 精進一潔齋

おんぢえん 情強一張諍

おんぢえん 成就一院日

おんぢえん 城番一主一兵

おんぢえん 淨名居士

おんこう

おんこう

かきせん 受禪 帝位相傳

かきらふ 入來 内院 破 魂

かきん 順 逆 巡 奉

かきあやう 受領 外官守介掾

かきんく 潤澤 俗

かきんえん 熟懇 根

かきんさう 熟生 生

かきよきう 助成 合方

かきよきん 如在 礼奠

かきんせう 寂滅 冥 照 日

かきんらう 受戒持律

かきん準 俗 准 道

かきん 頌 偈 文

かきんまの 順礼巡 日

かきんぎ 巡儀

かきんさう 誦 讀

かきんけん 實檢 首 文 純

かきよきん 助言 力

かきんたう 法事 系

かきんけん 邪見 術 法 後

おもうけの盛衰

おもうけの食事日餌イ時シ

おもうけの生熟

おもうけの純熟一燂

おもうけの終日ヒトモス

おもうけの執著執入声ヲ

おもうけの新賞會十月中旬

おもうけの實要一面

おもうけの聚樂京豊臣公

おもうけの常行堂

おもうけの諸寺一山

おもうけの上日

おもうけの仁義一者一道

おもうけの十百一即主一擢拾拾拾拾拾

おもうけの静閑日謚日

おもうけの静日上子日侍之

おもうけの諧終謚終

おもうけの進退日棲遲日

おもうけの無聲心不爾

おもうけの沉淪日

まづひら 鎮世沈水

まづむ 縮 まづまるまづめせ丸
ちづむ丸

まづ 陰股 玉篇赤子
陰や

ま 不 まじら 按トハ未及ムル視也
一ノ尺一ノ寸一ノ若月

まぢら 主治 茶性
主治 修治 茶劑
製法

まぢら 任成 支干
三ノエイヌ一申日

まじらもん 自身番 嚴き

まよほう 叙用

まよぶん 序分 科注
一文日

まうまん 充滿

まうふ 淨穢

まぐらき 宿直 ト升

まうもん 蹂躪 三ノ調

まもんぼう 准 準月
まもんトて丸

まうト 不若不如 月
まうトた劣
まのまの如

まづ 賤 一男一女

まんとん 訊問

まごけいん 神護慶雲 年号

まあつさく 述作著述

第四十三卷

附前卷之終

第四十四回

ひつど 未^{支名}申

ひつどさう未申^坤西南

ひぢら 泥^泥土^土塵^塵

ひのもど 葱

ひんらじ 檳榔子^{菜名}

ひづさ 鹿角菜^{尾イ}海鹿藻^{ひづさ}

びやくま 柏木^{菜名} 蒼木^{サツキ}

びんぜんさう 義人草

ひんぎやう 聖^人 仙^人 僧^人

ひんらじ 兵士

びんぎん 義人^ノ 孝^日

びんぎん 義女

ひんぎん 火鼠^ノ 皮

びんぎん 頻頭盧^{仏法} 賓^ノ 日

ひんぎん 曾祖父

ひんぎん 曾祖父

ひびく

ひつど 羊羔ヒツト表

ひびき 飛鷹ヒビキ中集巻五

ひづめ 蹄獸ヒヅメ瓜也

ひらまさき 劍ヒラマサキ冬手く

ひづえ 檜杖ヒヅエ杖

ひらぐさ ありの辟月ヒラグサ並取冬立

ひびき 秘術

ひやうぢやう 評定ヒヤウヂヤウ一送一白

ひど 非時ヒド不附ヒド一白

ひざまづく 跪

下の廿四

びやうぢや 病者

ひぢり 臂肘ヒヂリ肘ヒヂリ肱ヒヂリ

びんづら 鬘ビヅラびづらヒヅラ髻ヒヅラ

ひらまさき 柝肘ヒラマサキ本肱ヒラマサキ

ひやうぢやう 兵仗ヒヤウヂヤウ一杖

ひらぢやう 必定

ひど 秘事

ひびき 非常

ひづら 拏ヒヅラ拏ヒヅラ日

ひびく 秀ヒビクひびくヒビク

ひらう 庭弱 主癩抄正部入
各録之ち後多し

ひら

ひら ひら ト云思早リ
ひら マナリ

第四十五も

のらう まき 望月望月 望月

のりのせき 文司閑 文司閑

のらう め 物集 山城

のらう まよ 向往 水

のみら 紅葉黄 梅

のみづ 緋 糸ノ赤クテ
みでくのみみ
らて九

のらう 海蘊水雲 俗云のら
張るべし

のらう 藻屑

のえいづ 萌出 もえ

のらう 鴟伯勞 百舌鳥

のらう 文章 生 博士

のらう 百姓 百姓

註
比
類
二

ゆぢり
綏縑日イ戻日イ

ゆぢり
戻日イ棧具

ゆぢり
鋌キリ番匠具

ゆんぎよ
文書 支院

ゆのむぢ子むぢ子むぢ子す子不子屑子 子孟子子子 子不子更子更子更子

ゆらう子 子本子和子本子付子

下
の
比
類

ゆぢり
綏撈日イ鉸日イ戻日イ

ゆんぎやう
向狀

ゆらう子 子本子卷子下子之子

りぢ
文字日イ字日イもん日イト日イホ日イ

ゆんぢやう
捫擇日イ者日イ

第四十六世

せんぎやう
先月前日時日

せんぎやう
世上

せいのぎょう 西戒 在夷

せんぎょう 戰場

せいぎえん 聖人 一 萬方策

せんぎょう 先生 ともなひに称せんせい

せんどい 徭所

せう 尉 尉丞掾 又尉後ハ稱之

せうのむす 尉面 猿樂

せう 白炭 けいふ糸劫

せんどい 撰絲

せいぎょう 清書 卓

せんぎょう 園後 川 美徳

せんぎょう 閑路

せんぎょう 小人 君子

せんどい 先師

せんどい 前司 信多

せんどい 宣旨 及 後

せんぎょう 千手 観音又ハお

せんどい 青磁 青磁

せんどい 千字文 各名

せんぎょう 千奴 八尺

志士

せんぢやう

千丈

破れし之堤モ
破れし蟻火

せんじやう

煎

茶せんじやう

せんぢやう

先陣

後陣

せんぢやう

戦陣

非義せんぢやう

せんぢやう

焼亡

失

せんぢやう

稔定

せんぢやう

せんぢやう

絶死

冬入

せんぢやう

千差

せんぢやう

せんぢやう

小事

大事

せんぢやう

先蹤

今せんぢやう

せんぢやう

世情

凡人常
凡有非

せんぢやう

小乘

仏法をいふ
今せんぢやう

せんぢやう

宜旨

院宣

せんぢやう

取詮

旨

せんぢやう

撰者

述撰者

せんぢやう

少人

倭俗せんぢやう

下

第四十七す

すゞか 鈴鹿 伊勢マリア日本
三國之一

すゞ 篠 サシノ

すゞき 七種之一

すゞい 芋 イモ

すゞなま 薺 カキ 苺 イチゴ 仁 ニ 和名ツミダケ

すゞき 種姓 祖宗所出
トモヤウ

すゞい 隨兵

すゞり 鈴曳 金鐘見

すゞめ 雀 ハシ 餅 コシ

すゞき 鱸 巨口細鱗

すゞい 忍冬藤

すゞき 七種之一

すゞい 嫩條 ニ

すゞい 青芋 俗名ツバキ

すゞい 涼 イソ 芳 ヨシ 系 キ 松 マツ

すゞい 隨身 イソ

すゞい 水神 イソ

すゞい 鸞 イソ 風

すゞい 兔缺 イグチ 一云 ウグチ

すゞい 髓 骨中脂也
骨一 一云

すぢら

筋血道 | 絲 | 速

す

鈴鑿 | 和

すづ

錫 | 鉛 | 銻

すづ

數珠ちまびと丸

すゑのめづり陶器

すゑのり硯 | 硯墨磨 | 硯墨磨

すづりひ | 篠筵 | 鈴イ

すぢらら | 研屑 | 磨屑 | 屑

すぢらめ | 筋目 | 理向

すぢらら | 斜目 | 筋遠 | 直筋

すぢらう | 瑞相 | 表奇

すぢらら | 隨表 | 分縁

すぢらい | 隨意 | 俗云 | 筋筋

すぢらら | 誦経

すぢらん | 誦経 | 誦経

すぢらら | 健々 | 筋筋 | 筋筋

すぢらー | 涼

すぢらら | 涼相 | 上筋

すぢらろ | 坐變 | 無端 | 筋筋

すぢらら | 冷

すぢらるゝゆづ心喘斜中風症

ずいぐ 随来陀罗尼

すんぞ 寸土 卑短

ず

ずんまがれ 順流

ずらぐ 寸断冬 赤智是取

不びらるゝ 弗同

三ノナ

六ノナ

追加 十七條

○カ 邪蛇閣麝

○ク 兒瓷時醋而茲滋詞辭翮辭日辭日辭日慈磁

鷺同鷓同爾同通同迤同耳餌同餽同似同隴同貳同貳同次同

自侍寺事殿

ぢ 治持尼怱痔

○ケ 頭圖豆腐

○コ 需儒需濡受綬授壽樹頌誦聚戍就

○ク 徐舒紓鋤如茹如駕敘同序汝切助忍恕与

ぢよ 除女切妮呂

○まゝの 隋隨葉蕊心髓

○まゝん 人仁神尋壬任參忍賢盡甚社刃俗又
訊迅

ぢん 陣塵沈同沉

○まゝん 諄淳純尊鶉荀詢恂遵旬巡循馴楯

準准同盾筍同隼閏駒同潤殉

○まゝう 襄常襍壤諱情成城盛誠上狀靜淨

ぢまう 場丈杖仗定

ぢまう 茸蒸承丞繩俗繩乘俗乘仍宄俗作剩

ぢまう 濃醲澄

ぜう 燒韶饒橈蕘擾詔縹遶

でう 條裏切乃了趙

ざふ 聶囁

でふ 帖疊

○ぢう 充終戎從柔蹂縱

ぢう 住柱

ぢふ 十汁什拾入澀

○ぢき 食

ぢき 直

○ぢう 實寔日

下四廿九

ぢろ 帙袂 表暈呢

○ぢろ 術述 戌恤怵秣

○ぢろ 雀弱若

ぢろ 著

○ぢろ 肉胸粥 又ヒク共

ぢろ 軸舩 恣忸血 同

○ぢろ 粥 又ヒク共 下同 孰熟塾

○ぢろ 辱辱褥溲

ぢろ 濁

蜺縮凉鼓集大尾

ぢろ

ぢろ

元禄八歳 亥二月吉日

京三条繩子

伊勢屋清太郎
行板



カ
小

5700

4N-1:KN 1003-42
Sh 32
2

国立国語研究所



1001152709